

平成30年度水質事故発生状況

第1四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他 内容			
4	2	早川	—	箱根町			○	モルタル及びコンクリート	工事業者	県西土木事務所小田原土木センター河川砂防第一課から県西地域県政総合センター環境保全課（県西C）に、箱根町の建設工事現場において、モルタル及びコンクリートを早川へ流出させたと事業者から報告を受けたとの情報提供があった。県西Cは箱根町及び小田原市に連絡するとともに、事業者に対し再発防止等の指導を行った。小田原市環境保護課が下流を調査したが、異常は認められなかった。事業者は流出物の回収を行った。流出物の回収が終了し、河川への影響がなくなったことから、本件収束とした。
4	12	引地川	蓼川	綾瀬市			○	着色	事業者	市民から綾瀬市環境保全課（市）に、「排水路から蓼川に着色水が流れ込んでいる」と通報があった。市が現場調査を行ったところ、事業所から着色水の排出を確認、直ちに排水の停止を指導し、事業者は排水を停止した。事業者は高濃度の着色廃液をバキュームで吸い上げ、着色排水が極力出ない作業工程に見直し、排水の着色を防止することとした。本件、着色排水の流出が停止し、河川が原状回復したことから収束とした。
4	16	神戸川	—	鎌倉市			○	白濁	不明	通報者から鎌倉市消防（市消防）へ、神戸川が白濁しているとの通報があり、市消防、鎌倉市環境保全課（市保全課）及び大船警察が現場確認をしたところ、通報場所より約100m下流側に白濁を確認したが、さらに下流側では白濁は確認できなかった。また、魚の死亡は確認できなかった。周囲事業者等に聞き取りを行ったが、原因は判明しなかった。翌日、市保全課が現場を確認したが、白濁は確認できなかった。本件、新たな白濁の流入がなく、河川の白濁もなくなったため、収束とした。
5	13	中村川	—	小田原市			○	白濁	不明	小田原警察署（警察）から県西地域県政総合センター環境保全課（県西C）に、住民から「中村川で白濁がある」と通報があったと連絡があった。警察が現場確認を行ったところ、河川における白濁は確認されたが、解消に向かっていった。また、魚死亡等は確認されなかった。県西Cから小田原市環境保護課（市）に警察の情報を提供し、対応を依頼した。市が現地確認を行ったところ、白濁はすでに解消し、魚影も確認された。本件、白濁の新たな流出がなくなり、魚の生存も確認できることから、原因不明で対応を終了とした。
6	2	千歳川	藤木川	湯河原町			○	泡（シャンプー原液）	旅館	原因者から湯河原町環境課（町）に、「シャンプー原液入りの段ボール箱を搬入時に落とし、原液を側溝に流出させてしまった」と連絡があった。町が現場確認を行ったところ、河川約1kmにわたって泡の存在を確認した。魚等の死亡や濁り等は確認されなかった。町は原因者に対し再発防止を指導した。新たな流出がなく、河川への影響が解消されたことから、本件対応を終了した。
6	15	酒匂川	—	山北町			○	白濁	不明	飯泉取水管理事務所（飯泉取水）から県西地域県政総合センター環境保全課（県西C）に、「河川監視員が山北町の足柄橋から高瀬橋にかけて酒匂川左岸側に白い水が流れているのを確認したため、当所調査を進めている。」との連絡があった。 飯泉取水が現場確認したところ、白い水は確認できなかった。河川水のpHは左岸、右岸ともに8であり、魚の死亡等も認められなかった。県西Cが現場周辺の事業所に聞き取りを行ったが、設備の故障はなく排水管理もやっているとのことで原因の特定には至らなかった。 その後、飯泉取水から県西Cに情報提供があり、白濁発生時に釣りを行っていた釣具店の者から白濁発生時の写真提供を受けるとともに、漁協を通じて現場付近の河川水の提供を受けたため、pHを測定した結果、11と高い状態であった。 本件、白濁が確認できなかったため、原因不明で対応を終了した。
6	18	酒匂川	—	山北町			○	白濁（生コンクリート洗浄廃水）	事業者	酒匂川漁業協同組合から県西地域県政総合センター環境保全課（県西C）に「酒匂川の高瀬橋付近で白濁している。」との通報があった。 県西Cは山北町環境課（町）に連絡した。町が現場確認を行ったところ、高瀬橋から下流側が白濁していることを確認したため、流出源の調査を行った。翌日、県西Cと町が白濁流出源の疑いのある事業場に合同で立入検査を行い、当該事業場が白濁の原因者であることが判明したため、白濁の流出を止めるよう指導した。 本件、白濁の原因が判明し、河川の白濁が解消したため、対応を終了とした。

第2四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
							内容			
7	5	金目川(乙)	矢羽路根排水	伊勢原市			○	白濁	不明	市民から伊勢原市環境対策課(市)に、「矢羽根排水路に白濁がある。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、通報箇所付近で白濁を確認した。白濁は時間経過とともに解消しつつあり、また、日が沈んだため当日の対応を終了した。翌日、市が現場確認を行ったところ、白濁は解消しており、河川の簡易水質検査結果に異常は認められなかったため、本件原因不明で、対応を終了した。
7	7	酒匂川(甲)	尺里川	山北町			○	洗浄廃水	事業者	原因者から山北町環境課(町)に、「屋外施設の洗浄をした際、洗浄廃水を場外に流出させた。」と連絡があった。町が現場確認を行ったが、洗浄廃水はすでに流出した後で確認できなかった。飯泉取水管理事務所が、廃水が流入した水路の水を採水・分析し、取水に影響はないと判断した。アユの死亡は認められたが、本事故によるものではないと推察され、他の魚の生存も確認された。本件、新たな洗浄廃水の流出がなくなり、魚の生存が確認され、取水に影響がないことから対応を終了した。
7	11	引地川	蓼川	綾瀬市			○	発泡	不明	市民から綾瀬市消防(市消防)に、「綾瀬市上土棚の中川橋で泡が浮遊している。」と通報があり、市消防は同市環境保全課(市保全課)に連絡した。市保全課が現場確認を行ったところ、川の段差のある場所で発泡を確認したが、上流側での泡の存在を確認できなかった。時間経過とともに泡の発生は収束しつつあり、魚の死亡も確認されなかったため、原因不明で対応を終了した。
7	25	金目川(乙)	三澤川	大磯町			○	白濁(廃牛乳)	事業者	町民から大磯町環境課(町)に「三沢川が白濁している。」と通報があった。町と湘南地域県政総合センター環境保全課が現場確認を行ったところ、白濁を確認したため、周辺事業所に聞き取り調査を行い、原因者及び白濁の原因(廃牛乳の流しへの廃棄)を特定した。原因者に廃牛乳は廃棄物として適切に処理するよう指導した。河川の簡易分析結果に異常はなく、白濁の流入がなくなったため、対応を終了した。
7	26	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	白濁	不明	南足柄市環境課(市)から県西地域県政総合センター環境保全課に「市立南足柄幼稚園付近において、河川に置かれたスポンジ状の物から白濁した液体が流れ出ている。」と連絡があった。市が現場確認を行ったところ、スポンジ状の物は塗装に使うローラーであったため回収した。白濁は水性塗料の可能性が高いと推察された。飯泉取水管理事務所が現場確認を行ったが、白濁は確認できず、取水に影響はないと判断した。本件、新たな白濁の流出がなく、取水にも影響がないため、対応を終了した。
9	2	相模湾		藤沢市			○	下水道汚水	事業者	藤沢市下水道総務課(市)から湘南地域県政総合センター環境保全課に、「江ノ島に通じる弁天橋の下水道圧送管から汚水が流出した。」と通報があった。市が漏水を確認し圧送を停止、応急対策を行ったことで漏水は止まった。その後、漏水のないことを確認しながら圧送を再開した。本件、下水管の応急対策により漏水がなくなったため、対応を終了した。
9	16	山王川		小田原市			○	泡消火剤	車両火災	小田原市消防本部から県西地域県政総合センター環境保全課(県)に、「小田原厚木道路上で車両火災の消火活動を実施した際、泡消火剤が河川に流出した。」と通報があった。車両からの油流出はなく、魚の死亡も確認されていない。県から小田原市環境保護課(市)に連絡し、対応を依頼した。市は別途消防本部から通報があり、泡消火剤が環境に影響のないものであること、油流出がないこと等から、現場対応は行わないこととなった。本件、河川への新たな泡流出はないため、対応を終了した。
9	27	相模川(乙)	目久尻川	寒川町			○	白濁・塗料	不法投棄	町民から寒川町環境課(町)に、「ペンキ缶が不法投棄されている。」と通報があった。町及び茅ヶ崎警察が現場確認を行ったところ、30缶ほどの水性塗料缶が不法投棄されており、雨で塗料缶の中身があふれ、雨水排水管を通じて目久尻川に流出していることを確認したが、本川は目視で白濁は確認できず、コイの生息を確認した。用水路が白濁していたため町がオイルマットを設置し、投棄塗料缶は回収し、処分した。後日、町が現場確認を行い、用水路の白濁も解消されていることを確認した。本件、投棄物を回収・処分し、河川等への影響がなくなったことから、対応を終了した。

第3四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
							内容			
10	22	酒匂川(甲)		山北町			○	発泡・白濁	事業者	通報者から山北町環境課(町)に、「事業場の排水管から泡が発生している。」と通報があった。町が現場確認を行ったところ、事業場からの排水溝に白い付着物がこびりついていることを確認した。県西地域県政総合センター環境保全課が事業場に立入検査を行ったところ、排水処理工程の中和装置の維持管理に不備があり、沈殿物が越流し白濁水を生じた可能性が高いことが判明したため、口頭指導し、装置は稼働を停止した。本件、新たな泡流出は認められないため、対応を終了した。
10	23	金目川(乙)	三沢川	大磯町			○	白濁	事業者	町民から湘南地域県政総合センター環境保全課(湘南C)に、三沢川の白濁及び油浮遊の通報があり、大磯町環境課(町)に連絡するとともに、現場確認を行った。河川に死亡魚及び油浮遊は確認されなかったが、白濁が若干確認されたため、周辺事業者に聞き取り調査を行ったところ、事業所において使用した洗浄用漂白剤が白濁の原因の一つと考えられたため、清掃を指示するとともに、漂白剤の使用法に注意するよう指導した。本件、新たな白濁等がないため、対応を終了した。
10	24	金目川(甲)	室川	秦野市			○	白濁	不明	市民から秦野市環境保全課(市)に、「室川が白濁している。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、室川に接続する雨水管から白濁水が河川へ流入していることを確認、水質検査を行ったが異常は認められなかった。雨水管上流部の周辺調査を行ったが、原因特定には至らなかった。本件、白濁が解消したため、原因不明で対応を終了した。
10	29	金目川(乙)	板戸川	伊勢原市			○	白濁	事業者	市民から伊勢原市環境対策課(市)に、「板戸川が白濁している。」と通報があった。市が現場確認を行ったところ、板戸川(鈴川工業団地内)の白濁及び上流の事業所(木製品製造業)からの白濁水排出を確認した。事業所を立入検査したところ、排水処理施設の不具合により、一部未処理排水が越流していることが判明した。事業者に対し白濁水流出防止及び再発防止を指導した。本件、白濁水流出が停止し、魚等への影響が認められないことから対応を終了した。
11	1	滑川		鎌倉市			○	白濁	不明	市民から県警察に、「滑川で白濁がある。」と通報があり、県警察は鎌倉市環境保全課(市)に連絡した。市が現場確認を行ったところ、大町橋で支川から白濁水が流入していることを確認し、コイ数匹の生息も確認した。また、市が採水し簡易分析を行ったところ、懸濁物の混入は認められたが、水質に異常は見られなかった。横須賀三浦地域県政総合センター環境課が現場確認を行った際には白濁は解消されていた。県警察が上流部を調査したが、原因者を特定することはできなかった。本件、河川の白濁が解消したため、原因不明で対応を終了した。
11	2	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	白濁	不明	事業者から南足柄市環境課(市)に、「事業所付近の水路で白濁を確認した。」と通報があった。市が現場確認したところ白濁を確認したが、解消しつつあった。市は上流を調査したが、原因を特定することはできなかった。飯泉取水管理事務所(飯泉取水)も現場確認を行ったが、白濁は確認できなかった。飯泉取水は下流側で採水した検体及び事業者が事前に採水した検体の分析を行ったが、特に問題は見られず、魚の死亡も確認できなかったため取水に影響はないと判断した。本件、白濁が解消し、取水に影響がないため、原因不明で対応を終了した。
11	13	金目川(乙)	三沢川	大磯町			○	白濁	不明	町民から湘南地域県政総合センター環境保全課(湘南C)に、「三沢川で白濁・泡浮遊が認められる。」と通報があった。湘南Cと大磯町環境課が合同で現地調査を行ったところ、河川に接続する排水口付近に若干の白濁は認められたものの、泡は確認されなかった。下流側にカニ、小魚の死亡が確認されたが、死亡原因は特定できなかった。また、河川水の簡易分析を行ったが、異常は認められなかった。上流側の事業者に聞き取り調査を行ったが、白濁の原因の特定には至らなかった。本件、継続した白濁及び水質の異常は認められなかったため、原因不明で対応を終了した。
12	6	相模川(甲)	中津川	厚木市			○	泡の発生	事業者	市民から厚木市生活環境課(市)に、中津川に接続する水路に泡が発生しているとの通報があった。市が現場確認を行ったところ、水路の白濁を確認したため、周辺事業所を調査し、原因事業所を特定、厨房機器の洗浄水を水路に排水したことが原因であることが判明した。市は事業者に洗浄水を水路に排水しないよう指導し、周辺事業所にも注意喚起を行った。本件、水路の泡が解消に向かったことから、対応を終了した。
12	6	相模川(甲)	永池川	海老名市			○	白濁	不明	市民から海老名市環境課(市)に、永池川に接続する水路から白濁水が大量に流入しているとの通報があった。市が現場確認を行ったところ、永池川の白濁を確認した。市は拡散防止措置を行ったが、効果はなかった。市及び県央地域県政総合センター環境保全課が白濁水が流入した水路の上流を調査し、セメントの様な物質が投棄された痕跡を発見したが、原因の特定には至らなかった。本件、水路の白濁が解消されたことから、原因不明で、対応を終了した。
12	17	早川(甲)		箱根町			○	白濁	不明	酒匂川水系ダム管理事務所(管理事務所)から県西地域県政総合センター環境保全課に、早川に設置されている監視カメラで白濁を確認したとの通報があった。管理事務所が現場確認したところ、白濁は改善に向かっており、魚の死亡等は確認されなかった。翌日、箱根町環境課が現地確認を行ったが、白濁は確認されなかったため、原因不明で、対応を終了した。
12	26	相模川(甲)	善明川	厚木市			○	白濁	事業者	市民から厚木市生活環境課(市)に、善明川が白濁しているとの通報があった。市が現場確認を行ったところ、白濁を確認したが魚等の死亡は確認されなかった。市が上流側を調査し原因者を特定した。清掃時に塗料缶を倒し、側溝にこぼれた塗料を水で洗浄したことが原因であることが判明した。事業者は、側溝に残った白濁水を回収した。翌日、再度、市が現場確認を行い、白濁が解消されていることを確認した。本件、魚等の死亡が確認されず、河川の白濁が解消されたことから、対応を終了した。

第4四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
							内容			
1	6	金目川(乙)	長持雨水幹線	平塚市			○	白濁(接着増強剤投棄)	事業者	市民から平塚市環境保全課(市)に、金目川に通じる水路で白濁があるとの通報があった。市による現場確認において水路の白濁が認められたため、追跡調査を実施し水路に接続する雨水柵に塗料が投棄されていることを確認した。市は投棄された塗料を回収のうえ、聞き取り調査等を実施し、原因者と投棄されたものが接着増強剤であることを特定した。市は原因者に対し雨水柵の清掃を指示し、水路の監視を継続した。後日、白濁が解消されたため対応を終了した。
1	7	金目川(乙)	三沢川	大磯町			○	白濁	不明	町民から湘南地域県政総合センター環境保全課(湘南C)に、三沢川で白濁があるとの通報があった。大磯町環境課(町)と湘南Cが合同で現場確認を行ったところ、河川は下流側も含め白濁は確認できなかったが、白濁の痕跡と考えられる付着物が確認された。河川水の簡易分析を行ったが、水質に異常は見られなかった。近隣の事業者へ聞き取り調査を行ったが、原因の特定には至らなかった。その後、白濁が解消し、水質に異常が見られないため、原因者不明で対応を終了した。
1	17	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市			○	白濁	不明	市民から南足柄市環境課(市)に、狩川につながる水路で白濁があるとの通報があった。市が現場確認を行ったところ、通報箇所の白濁はすでに解消しており、下流側で白濁を確認した。上流側を確認したが、原因の特定には至らなかった。魚の死亡は確認されなかった。また、飯泉取水管理事務所が現場の状況を確認し、取水に影響はないと判断した。その後、白濁が解消し、魚の死亡も確認されず、取水にも影響がないため、原因者不明で対応を終了した。
1	17	滑川	御谷川第1雨水幹線	鎌倉市			○	下水汚水漏洩	事業者	市民から鎌倉市環境保全課(市環境)に、扇川が白濁しているとの通報があった。市環境が現場確認を行ったところ、河川底部に堆積物を確認したが、魚死亡は確認されず、周辺事業所調査でも特に問題はなかったため、同市下水道河川課(市下水)に現地確認を依頼した。市下水の現場確認の結果、下水道本管のつまりにより汚水が河川に流入したと推測されるとの報告があった。市下水は発生当日に管路のつまりを解消し、後日バキュームにて川底の堆積物を回収した。その後、新たな汚水流出が止まり、清掃が完了したため、対応を終了した。
1	18	滑川	佐助川	鎌倉市			○	下水汚水漏洩	事業者	市民から鎌倉市環境保全課(市環境)に、自宅前の側溝で1か月前から下水臭があり、下水が流れているとの通報があった。市環境及び同市下水道河川課(市下水)が合同で現場確認を行ったところ、通報箇所での汚水の排出を確認した。周辺調査により下水道管(汚水)マンホールにてつまりを確認したため、市下水にてつまり解消を要請した。(市下水)はつまりの解消と雨水側溝の清掃を実施した。その後、新たな汚水流出が止まり、清掃が完了したため、対応を終了した。
1	30	金目川(乙)	三沢川	大磯町			○	白濁	不明	町民から大磯町環境課(町)に、三沢川が白濁しているとの通報があった。町及び湘南地域県政総合センター環境保全課が現場確認を行ったところ、河川の白濁を確認したが、流出元は判明せず、周辺の事業者へ聞き取り調査を実施したが、原因の特定には至らなかった。このため周辺事業者への注意喚起等を行い、原因者不明で対応を終了した。
1	30	下山川		葉山町			○	白濁	不明	町民から葉山町役場(町)に、木古庭の水路が白濁しているとの通報があった。町が現場調査を行ったところ、水路で白濁と腐敗臭を確認した。横須賀三浦地域県政総合センター環境課及び町による周辺事業所の調査により、複数の事業所において排水管理の不備を認め指導を行ったが、原因の特定には至らなかった。河川清掃等の判断は河川管理者に委ね、原因者不明で対応を終了した。
1	31	金目川(乙)	三沢川	大磯町			○	白濁	不明	町民から大磯町環境課(町)に、三沢川が白濁しているとの通報があった。町と湘南地域県政総合センター環境保全課が現場確認を行ったところ、河川の白濁を確認したものの、流出元が判明せず、周辺の事業者へ聞き取り調査を行ったが、原因の特定には至らなかった。本件、周辺事業者への注意喚起等を行い、原因者不明で対応を終了した。
2	4	金目川(甲)	水無川	秦野市			○	泡の浮遊	不明	秦野市職員が水無川で泡浮遊を発見し、同市環境保全課(以下、市)に通報した。市による現場確認で秦野大橋付近の水無川の段差部分で白い泡を確認した。泡の流入元は水無川に接続している排水口であったが、排水口は国道246号の暗渠につながっており、その先は追跡できなかった。水質の簡易分析の数値に異常がなく、新たな泡の流入が認められないことから、原因者不明で対応を終了した。
2	14	引地川(乙)	比留川	綾瀬市			○	泡の浮遊	不明	市民から綾瀬市環境保全課(以下、市)に、比留川での泡発生の通報があり、市が現場確認を行ったところ、河川に泡浮遊を確認した。市は周辺調査を行うとともに、県中央地域県政総合センター環境保全課と合同で原因の可能性のある事業所に立入検査を行ったが、原因者を特定することはできなかった。その後、河川の泡浮遊が解消したため、原因者不明で対応を終了した。
2	14	引地川(乙)	比留川	綾瀬市			○	泡の浮遊	不明	市民から綾瀬市環境保全課(以下、市)に、比留川での泡発生の通報があり、市が現場確認を行ったところ、河川に泡浮遊を確認した。市は周辺調査を行うとともに、県中央地域県政総合センター環境保全課と合同で原因の可能性のある事業所に立入検査を行ったが、原因者を特定することはできなかった。その後、河川の泡浮遊が解消したため、原因者不明で対応を終了した。
3	26	金目川(乙)	鈴川	伊勢原市			○	白濁発泡	事業者	市民から伊勢原市(以下、市)に前日、鈴川にて白濁・発泡があったとの通報があった。通報者が前日に撮影した動画で発泡を確認したため、通報地点の上流にある事業場に湘南地域県政総合センター及び市が立入検査を行ったところ、事業場排水に若干の白濁があり、鈴川流入部下流にて沈殿物を確認したため、濁水処理3施設のうち一部設備の使用停止、他設備は点検の実施および処理方法の改善検討を指示した。さらに、県平塚土木事務所から河川の沈殿物の回収を指示した。その後、鈴川に流出した沈殿物の事業者による回収が完了したため、対応を終了した。